

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ○ 問題意識を持たせる | ○ 自分との関わりで考えさせる |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 人間としての生き方について考えさせる |

中学校2年生 B-(9)相互理解, 寛容「なみだ」のポイント

<ねらい> 人間が相互に立場を尊重することが、自分の人生にとってどのような価値を持つのかを考えようとする道徳的心情を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

問<問題意識を持たせる>

- ・「なみだ」に対するイメージについてのアンケート結果と、登場人物とあらすじの紹介を通して、本時の課題について問題意識を持たせる。

多<多面的・多角的に考えさせる>

- ・「わたし」やS君の気持ちや行動を考えるを通して、相手の立場に立って物事を考え、尊重することについて多面的・多角的に考えさせる。

(中心的な発問)

- ◎指は痛いはずなのに、「たいしたことないよ」と言えたのはなぜでしょう。

(補助発問)

- 怪我をさせたS君はどんな気持ちだったでしょうか。

自<自分との関わりで考えさせる>

- ・補助発問を通して、相手の立場に立って物事を考え、互いに尊重することの難しさについて自分との関わりで考えさせる。

(補助発問)

- もし怪我をしたのが自分で、大事な大会の直前だったらどう思いますか。
- 自分だったら「たいしたことないよ」って言えますか。

生<人間としての生き方について考えさせる>

自<自分との関わりで考えさせる>

- ・「人と関わるときに大切なこと」について、これからの学校生活をイメージして考えさせ、人間としての生き方について考えを深めさせる。

(発問)

- 「人と関わるときに大切なこと」について考えたことを、これからの学校生活をイメージしながらまとめましょう。

展開

終末